

公 益 社 団 法 人

福岡県作業療法協会会報

第132号 平成30年7月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 許山 勝弘

ホームページアドレス : <http://www.fuku-ot.org/>



特集：

嘉麻市における自立支援型地域ケア会議における専門職の役割について

平成30年7月吉日

会員各位

公益社団法人福岡県作業療法協会

会 長 志井田太一

教育部担当理事 青山 克実

日本作業療法士協会電子会員証および 研修受講カードの取り扱いについて

拝啓、晩春の候、会員の皆様方には、益々のご活躍のことと存じます。

今年度より、日本作業療法士協会の会員証が電子化され、研修受講カードの配布が行われております。研修受講カードでは当該年度の会費納入の有無は確認できないため、日本作業療法士協会会員であることが参加要件の研修会参加時には、電子会員証の提示も必要となります。しかし、電子会員証および日本作業療法士協会 会員ポータルサイトの周知が不十分なこと、バーコードシステムとその周辺機器の未整備なため、電子会員証の手続きが混乱することが必至だと推察できます。そこで福岡県作業療法士協会が主催する日本作業療法士協会会員が参加要件の研修会参加時の会員証の提示については、皆様の不利益とならないよう、今年度に限り以下の通り対応してまいります。

<研修会参加時の日本作業療法士協会電子会員証の取り扱いについて>

今年度に限り、日本作業療法士協会会員であることが参加要件の研修会等の際に、電子会員証が提示できない会員の方は、研修受講カードの提示でも受け付けることとしております。ご不明な点は、各研修会問い合わせ先または下記アドレスまでにご連絡ください。

なお、今年度中に電子会員証の提示ができるように手続きをお願いします。

敬具

【問い合わせ先】

公益社団法人 福岡県作業療法協会

教育部担当理事 青山 克実(麻生リハビリテーション大学校)

e-mail : k-aoyama@asojuku.ac.jp

目次

巻頭言：代表理事就任のご挨拶	・・・1
公益社団法人 福岡県作業療法協会 代表理事 竹中 祐二 麻生リハビリテーション大学校 作業療法学科主任	
代表理事および理事の交代についてのご案内	・・・2
会長行動	・・・3
副代表理事就任のご挨拶	・・・4
株式会社シダー 佐藤 稔	
事務局長就任のご挨拶	・・・4
事務局長 平岡 敏幸	
会長退任のご挨拶 『福岡県作業療法協会での軌跡』	・・・5
北九州市立総合療育センター 志井田 太一	
事務局長退任のご挨拶	・・・5
社会福祉法人 絆の会 療養介護事業所 ひなた家 中川 昇	
日本作業療法士協会名誉会員表彰受賞の報告	・・・6
九州栄養福祉大学リハビリテーション学部作業療法学科教授 大丸 幸	
特集：	
嘉麻市における自立支援型地域ケア会議における専門職の役割について	・・・7
医療法人 夢結 らそうむ内科・リハビリテーションクリニック 靱井 剛士	
平成29年度第6回理事会議事録	・・・15
平成30年度第1回理事会議事録	・・・17
各部・委員会からのお知らせ	・・・20
Occupation：	・・・23
青洲会病院 河野 純平	
リレーエッセイ：	・・・24
西野病院 林 佑樹	
会員動向調査：	・・・25

巻 頭 言 代表理事就任のご挨拶

公益社団法人 福岡県作業療法協会 代表理事 竹中 祐二
麻生リハビリテーション大学校

会員各位

謹啓 梅雨空の候、ますますご清栄のことと存じます。

さて、私儀、平成30年度定期社員総会後の臨時理事会議決により、志井田前代表理事の後任として当協会の代表理事に就任いたしました。なお、業務執行理事には、筑後ブロックの濱本理事と新たに北九州ブロックの佐藤理事が選任されました。また、事務局長には筑豊ブロックの平岡理事、外部監事には引き続き、公認会計士の吉田秀樹先生をお願いをしました。

前代表理事の志井田先生におかれましては、平成6年度より24年間の長きにわたり当協会の存在感を示し、卓越したリーダーシップで当協会の発展にご尽力いただき大変ありがとうございました。また、事務局長の中川先生におかれましても13期の長きにわたり当協会の財務、人事管理を担っていただき大変ありがとうございました。心から感謝申しあげます。その任を引き継ぐうえで重責を感じておりますが、前代表理事が取り組んでこられた、介護予防市町村支援事業を始めとした種々の地域医療、福祉、および介護との連携を引き続き他団体と協力して推進していく所存です。



私自身は平成4年度に学術部理事を拝命したのち、この度で14期目を迎えます。皆さま方の温かいご支援とご協力により、9年に亘る副会長職を大過なく全うさせていただきました。この度、志井田先生が私に大役をお与えになりましたのは、福岡県作業療法協会の将来に向けて組織をさらに発展させよとの叱咤激励でないかと、受け止めています。

さて、日本作業療法士協会の第3次5ヵ年戦略において、今年度は「地域包括ケアシステムに寄与する人材の育成体制の確立と展開」が求められています。その実現には、作業療法士の技能向上、作業療法の普及・振興、関係団体との提携交流、大規模災害等により被害を受けた人への支援に関する取り組み等が重点項目となっています。当協会も昨年に引き続き「地域包括ケアシステムの推進」、「地域共生社会の実現」等を目的に、持続可能な安定した法人運営に留意し、本部協会と連携しながら全般的業務に取り組んでまいります。

来年度に予定されております第53回日本作業療法学会（福岡市）の運営協力、第1回九州作業療法学会（北九州市）の企画・運営も大きなイベントとなります。このため、今年度の福岡県作業療法学会は休会とさせていただきますが、学術部を中心として協会全体で取り組んでまいります。

今後とも、地域との関係性を高め、積極的に社会貢献を果たすために、協会活動を一層活性化させたいと思います。当協会が社会から信頼される団体として発展できるよう、会員皆さまのより一層のご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げ着任のご挨拶とさせていただきます。

代表理事および理事の交代についてのご案内

謹白

平成30年6月吉日

会員各位

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、去る6月10日開催の弊社社員総会ならびに臨時理事会において役員が下記のとおり選任されそれぞれ就任いたしました。

つきましては、一同ますます皆さまのご助言ご協力を仰ぎ、組織体制の充実をはかり、皆さまのご要望に沿うよう一層の努力をいたす所存でございます。なにとぞ前任者同様 格別のご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

日頃ご高配をいただいている皆さまにあらためて御礼申し上げますとともに、ご挨拶申し上げます。

謹白

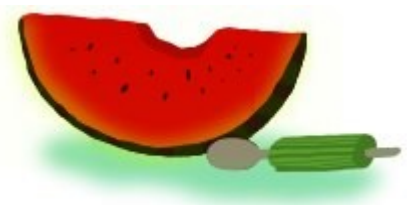
記

【代表理事】	竹中 祐二	(麻生リハビリテーション大学校)
【副代表理事】	濱本 孝弘	(聖ヨゼフ園)
	佐藤 稔	(㈱シダー)
【事務局長】	平岡 敏幸	(飯塚記念病院)
【理事】	青山 克美	(麻生リハビリテーション大学校)
	有久 勝彦	(国際医療福祉大学)
	宮本 香織	(らそうむリハビリテーションセンター)
	深井 伸吾	(有限会社 いきいきリハビリケア)
	許山 勝弘	(福岡リハビリテーション病院)
	深町 晃次	(九州栄養福祉大学)
	永田 敬生	(福岡医健・スポーツ専門学校)
	福田 裕樹	(医療法人柳育会 新やなぎ健診クリニック)
	田中 聡	(㈱リライブ)
	手島 智康	(九州医療スポーツ専門学校)
	峯崎 佳世子	(自宅)
	轟木 健市	(帝京大学福岡医療技術学部)
	黒木 勝仁	(社会福祉法人学会会サンシャインセンター)
	松尾 雅宜	(宗像水光会総合病院)
	靱井 剛士	(らそうむリハビリテーションセンター)
	玉野 和男	(松恒園通所リハビリテーション)

以上

会長行動 （平成30年1月～3月）

- | | | |
|-----|-----|---|
| 4. | 9. | 平成30年度第1回福岡県作業療法協会理事会 出席
場所：らそうむスポーツガーデン |
| 4. | 17. | 第12回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 第10回全体会議 出席
場所：パインビル |
| 4. | 18. | 第1回九州作業療法学会 第6回準備委員会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校 |
| 4. | 28. | 一般社団法人日本作業療法士協会 地域包括ケアシステム推進委員会 出席 |
| 29. | | 一般社団法人日本作業療法士協会 47都道府県士会委員会 出席
場所：TKP東京駅日本橋カンファランスセンター |
| 5. | 7. | 平成30年度 福岡県PT・OT・ST連絡協議会 世話人会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校 |
| 5. | 14. | 第12回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 第11回全体会議 出席
場所：(株)シダー本社 |
| 5. | 16. | 福岡県作業療法協会 平成29年度監事監査 出席
場所：福岡県作業療法協会事務所 |
| 5. | 22. | 北九州市すこやか住宅推進協議会 平成30年度第1回 理事会 出席
場所：小倉リーセントホテル |
| 5. | 26. | 一般社団法人日本作業療法士協会 平成30年度定時社員総会 出席
平成30年度第1回九州作業療法士会会長会 出席
場所：日経ビル |
| 5. | 28. | 第12回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 第12回全体会議 出席
場所：パインビル |
| 5. | 31. | 北九州市すこやか住宅推進協議会 平成30年度通常総会・交流会 出席
場所：小倉リーセントホテル |
| 6. | 3. | 福岡県作業療法協会 地域ケア会議および介護予防事業人材育成に関する研修会 出席
場所：JR博多ビル |
| 6. | 6. | 第12回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 会場の下見
場所：北九州国際会議場 |
| 6. | 10. | 公益社団法人福岡県作業療法協会 定期社員総会 出席
場所：福岡県作業療法協会 事務所 |
| 6. | 16. | 日本訪問リハビリテーション協会学術大会in北九州 参加 |
| 17. | | 場所：北九州国際会議場 |



副代表理事就任のご挨拶

公益社団法人 福岡県作業療法協会 副代表理事 佐藤 稔
株式会社シダー

皆さんこんにちは、この度、副会長に就任いたしました、株式会社シダーの佐藤稔（44歳）です。福岡県作業療法協会の理事を務めて14年になります。その間に、公益社団法人に変更し、より県民・市民からのニーズや社会的責任も増してきていると感じています。平成30年度は、医療・高齢者介護・障害福祉サービスの言わばトリプル制度改定に対し、各現場でも慌しくサービスが提供されていることと存じます。作業療法士の職域がますます拡大されている中、これからの作業療法を担う若い世代のセラピストの方々には、作業療法の知識、技術はもちろんのこと、政治や経済、仲間作りなど様々なことに目を向けていただきたいと思います。当協会では、更なる作業療法士の職域拡大を目標に、一般県民に向けたPR、それぞれの情報交換の場づくり、様々な分野での研究、収益事業の考案、会員が参加できるメリットの提示、他団体との連携など、全力で課題に向き合い、全会員一丸となって進んでいくことを目指しています。まずは、横のつながりで多くの仲間と出会い、尊敬し合い、より高い技術・知識・行動力を持った個々が育ち、強い職能団体になっていくことを心より願っています。まだまだ未熟な私ではございますが、竹中会長を支え、より高度な組織作りに全力で取り組みながら、多くの皆様方と楽しく集えるよう人と人を繋いでいき、『多くの方に頼られる作業療法』を展開していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



事務局長就任のご挨拶

公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務局長 平岡 敏幸
飯塚記念病院

中川昇前事務局長の後任として、6月10日付より就任させて頂きました、飯塚記念病院の平岡敏幸です。微力ではありますが、事務局長という重責を担っていこうと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

私は平成6年に作業療法士免許を取得し、同年より教育部部員として県協会との関りを始めました。諸先輩方の指導の下、色々な研修会を企画運営しながら、筑豊ブロック運営委員も兼任し、平成24年から筑豊担当理事3期を経て、この度の就任となりました。筑豊ブロックは約200名の会員数ですが、県全体となると約3000人になります。都道府県内でも1、2位を争う会員数です。そんな大所帯の県士会ですが、皆様からの会費収入を適切に管理し、作業療法士としての専門性を活かした公的事业が展開できるよう法人運営に力を注いでいこうと思います。



まだまだ未熟ではありますが、本協会の発展、繁栄のため尽力していく所存ですので、今後とも会員皆様のお力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

昭和55(1980)3月に労働福祉事業団九州リハビリテーション大学校を卒業し、作業療法士となりました。

当時は都道府県単位の士会は存在せず、日本作業療法士協会九州支部に所属する会員であったと記憶しています。昭和57(1982)年4月に米倉豊子初代会長の下、56人の会員で福岡県作業療法士会が設立され、徳永麗子2代会長、近藤敏3代会長の後を私が引き継ぐことになります。

社団法人化は近藤会長在任時の平成5(1993)年、公益社団法人化は平成24(2012)年でした。二度の法人化を申請する際は、現外部監事の公認会計士の吉田秀樹先生と、司法書士の吉田清勝先生に大変お世話になりました。

事務所を開設したのは平成10(1998)年で、事務員の埤野(たおの)さんは開設当初から勤務していただいています。

会長在任中に福岡県で開催された日本作業療法学会は2回(第18回(昭和59(1984)年):北九州市立戸畑市民センター、第37回(平成15(2003)年):北九州国際会議場)。九州理学療法士・作業療法士合同学会は3回、第17回(平成7(1995)年):産業医科大学、第25回(平成15(2003)年、第33回(平成23(2011)年):北九州国際会議場でした。

平成12年に介護保険法、平成17年に発達障害者支援法、平成18年障害者自立支援法(現障害者総合支援法)が施行され、作業療法士の参画に向けた体制づくりに会員の皆さんと一緒に関わることができました。

在職中を振り返ると、沢山のエピソードとともに様々な思い出が蘇ります。平成30年3月31日現在(2,947人)の会員数は、私が会長を拝命した平成7年の会員数(469人)の6倍強であることに改めて驚いています。

理事会運営では、中川昇元事務局長、元副会長の大丸幸先生、故吉田隆幸先生、はじめ竹中新会長他歴代の理事の皆さま方に大変お世話になりました。

近藤元会長から会長職を引き継ぐ覚悟を決めた際のエピソードはまた何かの機会にお伝えしましょう。

会長在任中は沢山の方とお会いでき、示唆に富むお話が聞けたことは私の何よりの宝物となっています。

皆さん、長い間ほんとうにお世話になりました。

事務局長退任のご挨拶

社会福祉法人 絆の会 療養介護事業所 ひなた家 中川 昇

平成2年からの福利部・北九州地区理事を経て、平成7年より事務局長として県協会の事業に関わってきました。事務局長として最初にしたことは、年会費の値上げで、それも5,000円から10,000円に。... 県協会の事務局機能(事務所の設置、事務員の雇用等)の充実のためでした。その後、平成14年の設立20周年記念式典、平成15年の全国作業療法学会及び九州PT・OT合同学会の開催、平成22年の代議員制導入、平成24年の公益社団法人認可や設立30周年及び公益社団法人記念事業等に携わってきました。今振り返ってみると目まぐるしい28年間だったと思います。会員の方には、県協会の運営にご協力頂き、本当にありがとうございました。これからも県民の一人ひとりの利益のために、1人でも多くの会員の方が県協会の活動に参加し、“作業療法の良さ”を多くの県民に伝えていただきたいと思います。

最後になりますが、更なる公益社団法人福岡県作業療法協会の発展を心から願っています。

日本作業療法士協会名誉会員表彰受賞の報告

九州栄養福祉大学リハビリテーション学部作業療法学科教授

大丸 幸

思いがけない受賞をいただきましたこと、福岡県協会各位にお礼方々、ご報告致します。

日本中が60年安保闘争の余波が吹く中でリハビリテーション教育が始まり、日本で2番目に開学した九州リハ大の一期生として昭和41年に入学し作業療法士になってから50年近くの年月が経ちました。当時の教育環境は医学の進歩と相まって労働災害、交通災害等による身体障害者、精神障害者が急増し、また成人病患者の増加や高齢化の到来に伴い、障害者の社会復帰を目的としたリハビリテーションの重要性が高まっていました。そのため欧米から赴任した多くの外国人講師が国際水準に即した高い専門教育と、九州労災病院を拠点にして、総合療育センター、福岡病院等を手始めに実習施設開拓が進められました。

このように恵まれた教育環境のお蔭で出会った対象者からは、病気や障害があつての暮らし方までを教わりながら、作業療法士であることで日本や外国の作業療法士とも技術交流が深まっていく中で、生き甲斐がもてる作業療法に出会えたことを感謝する受賞式でした。

特に福岡県作業療法協会は日本一の会員数を誇り、日本をリードするリハビリテーションの理念と実践家の専門職能集団です。この福岡県協会のリハ魂は、平成15年に第37回日本作業療法学会を北九州市開催の時に学会運営委員で同時発刊した「ノーマライゼーション実践学、青海社、2003」を是非ご一読ください。これからも福岡県協会のご発展を祈念しております。感謝を込めてありがとうございました。

(平成30年5月26日授賞式)



1. はじめに

昨今、団塊の世代が75歳（後期高齢者）を迎えるのが2025年といわれている。2025年には全人口の4人に1人は後期高齢者という超高齢化社会となり、医療、介護、福祉サービスの充実が求められている。

福岡県内の各市町村も、それぞれの地域課題を抱えており、解決するため様々な会議や取り組みがなされている。その中で、自立支援型地域ケア会議は、地域の課題解決や、ネットワークの構築の促進など色々な効果が期待されている。

平成28年より実施されている地域ケア会議を促進するための介護予防普及展開事業の紹介と嘉麻市の自立支援型地域ケア会議において専門職が期待されていることや注意すべき点を紹介する。

2. 介護予防普及展開事業について

1) 介護予防普及展開事業が実施されるまでの経緯

厚生労働省は、高齢者が重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、各地域で、「医療」「介護」「介護予防」「住まい」「生活支援」が包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進している。

特に「介護予防」は、要介護状態の軽減や悪化の防止だけでなく、高齢者が地域で自立した生活

がおくれるようにすることを目的としており、これらは、「高齢者本人の自己実現」、「高齢者が生きがいを持ち、自分らしい生活をつくっていただく」ことが重要であると述べている。

平成18年介護保険法改正により介護予防事業が構成され、その主眼は要支援・要介護状態となるおそれのある高齢者を基本チェックリストで把握し、運動機能や口腔機能の改善などを実施する二次予防事業といったハイリスクアプローチに置かれてきた。一方で、このようなハイリスクアプローチのみならず、高齢者がボランティアとして活躍するなどして、住民の自助による介護予防活動の場を増やす取組や、和光市や大分県などで介護予防サービス等を開始する前に多職種の助言を得ながら介護予防・自立支援に向けた目標設定や支援を判断する地域ケア会議の取組といった介護予防・自立支援の実践事例が生まれた。

平成28年度より「介護予防活動普及展開事業」において、自立支援・介護予防の観点から実施する地域ケア会議について、先行して実施している自治体（和光市、大分県）を参考にして、その考え方や実践手法を整理し手引き書（市町村向け、専門職向け、事業所向け）が作成された。各市町村でモデル市町村を選定され福岡県内でも実施されている。（平成29年度モデル市町村、糸島市、嘉麻市、福津市、みやま市、平成30年度モデル市町村、宗像市、直方市、柳川市）（図1）

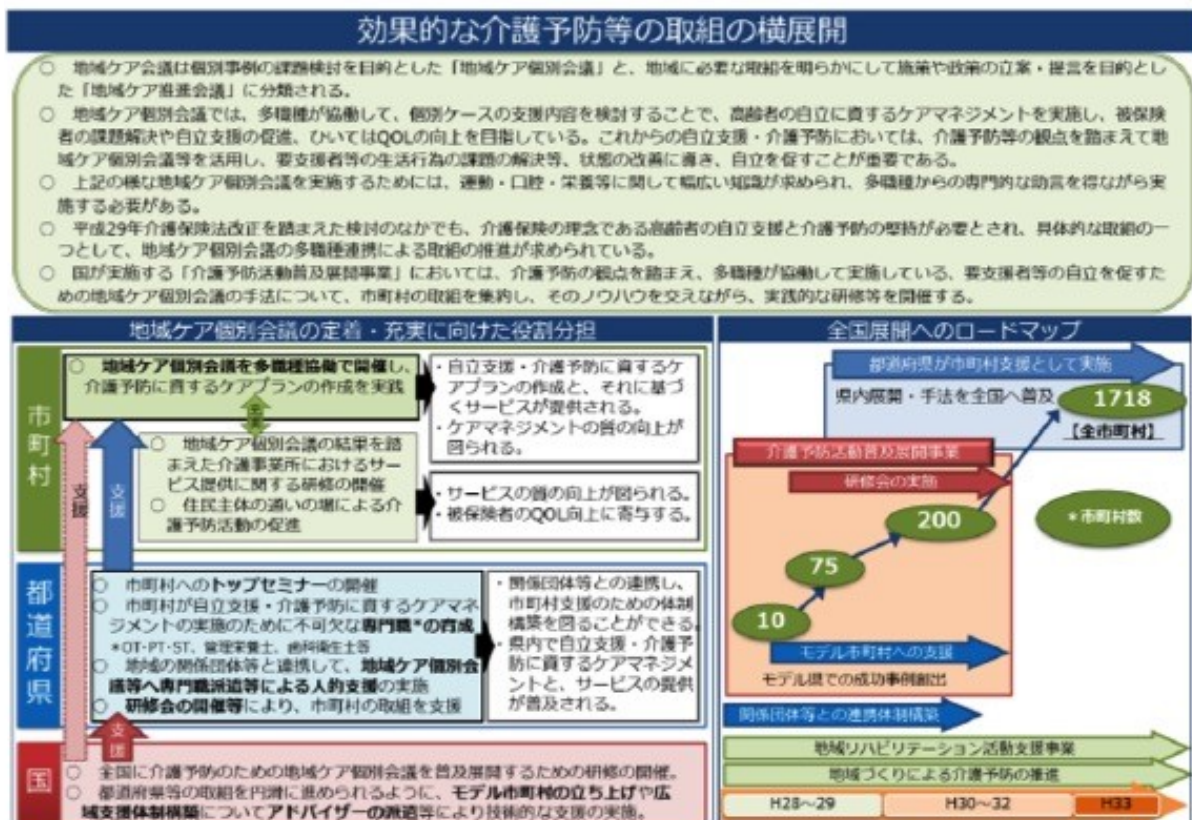


図1

2) 手引き書について

各市町村にて自立支援・介護予防の観点から実施する地域ケア個別会議の立ち上げ・実践の際に活用されるように対象者を分けて手引き書が作成された。手引き書の一部を紹介する。（図2）

地域ケア会議の機能と分類について

地域ケア会議の機能には、①個別課題の解決、②地域包括支援ネットワークの構築、③地域課題の発見、④地域づくり資源開発、⑤政策の形成という5つの機能がある。（図3）

種別	自治体向け手引き ● 都道府県向け手引き ● <u>市町村向け手引き</u> (本手引き)	専門職向け手引き	事業所向け手引き
対象	地域ケア会議を通じた自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントを今後地域で展開していく自治体職員	地域ケア会議で助言する専門職	介護サービス事業所（通所介護）の職員
目的	地域ケア会議を専門職と協働して開催し、自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントを実践することを目的として作成	助言者として事例提出者（チーム）が現場で実践しやすい助言をすることを目的として作成	地域ケア会議を通じた自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントが地域で進められる中で、介護サービス事業所としてどのような姿勢や手法で利用者にサービスを提供するかについて理解を深めることを目的として作成

図2

地域ケア会議の機能

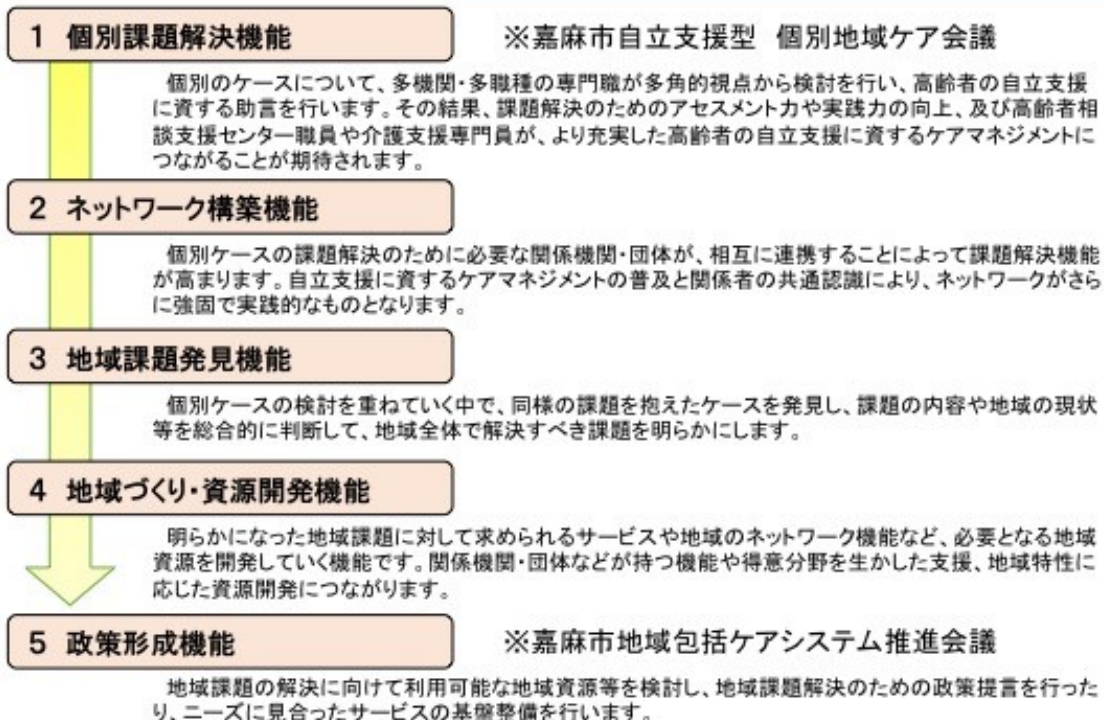


図3

また地域ケア会議は開催の目的・方法によって大きく、2種類に分かれる。一つは、現在、多くの作業療法士が参加している個別事例の課題検討する「地域ケア個別会議」がある。また、個別会議の積み重ねによりでてきた地域に必な取り組みを明らかにして政策を立案、提言する「地域ケア推進会議」がある。

地域ケア会議で取り扱う事例について

手引き書で想定している地域ケア会議は、自立支援・介護予防の観点から踏まえて実施することから、対象者は「サービス事業対象者」「要支援者」を想定されている。（図4）

各市町村で地域ケアが進められていく中で、それ以外の対象者（例えば要介護者や困難事例等）についても、地域の実情に合わせて徐々に範囲を広げていくことも可能であると述べている。

実際に地域ケア会議で検討する対象者は、サービス事業対象者及び要支援者であっても、人口規模等によって全員を地域ケア会議にかけられないこともあるため、地域の実情に合わせて選定されている。（図5）

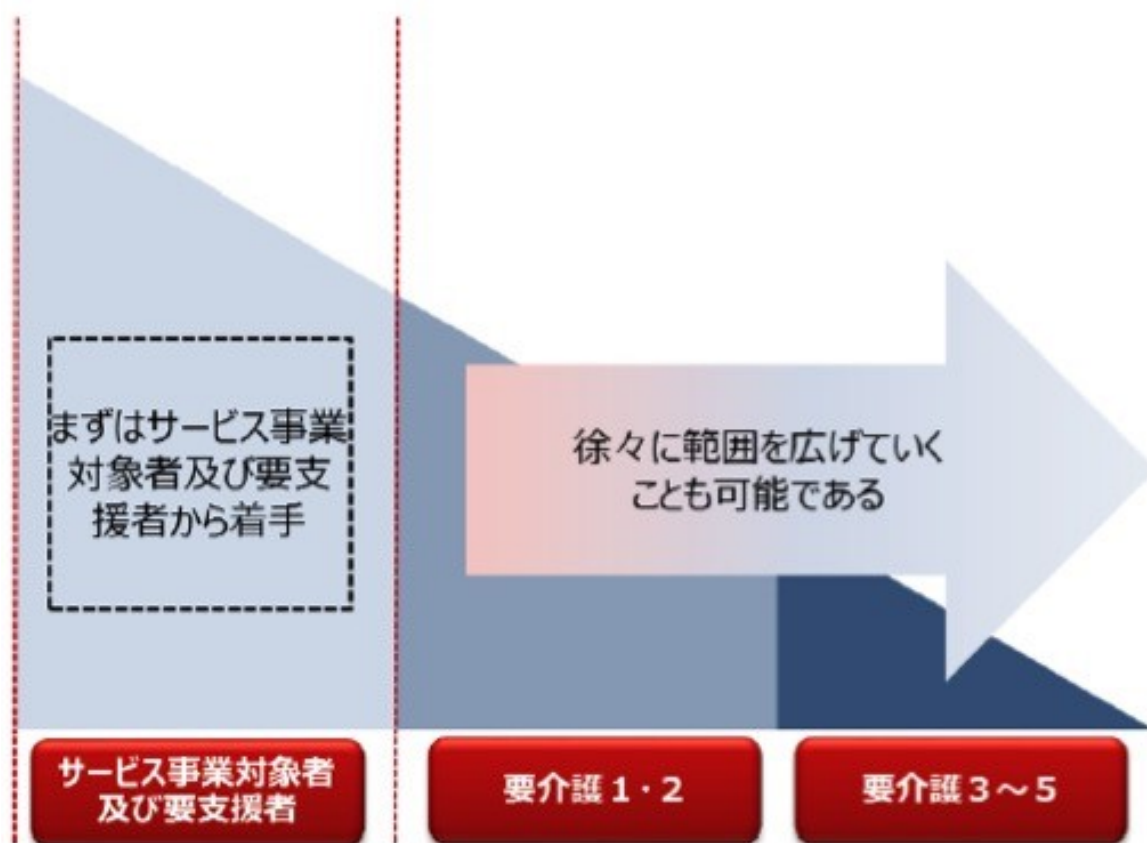


図4

【先行事例における対象者選定（例示）】

- ・ サービス事業対象者及び要支援者全員
- ・ サービス事業対象者及び要支援者のなかでも福祉用具の貸与や住宅改修を伴う事例
- ・ 生活行為に課題が生じる大腿骨頸部骨折等の筋骨格系疾病により要介護認定に至った者

図5

助言者の役割

手引書では、「医師」、「歯科医師」、「薬剤師」、「理学療法士」、「作業療法士」、「言語聴覚士」、「管理栄養士」、「歯科衛生士」の役割について書かれている。その中で作業療法士は、「主に応用的動作能力（食事・排泄等）、社会的適応能力（地域活動への参加・就労等）の回

復や維持、悪化の防止の観点からの助言を行います」と書かれている。その為、個別地域ケア会議に参加する作業療法士には、対象者の心身機能、生活機能（ADL）に留まらず、対象者の生活を維持改善するための参加（家庭、社会での役割）を見据えた具体的な生活目標や実行内容の助言が求められている。（図6、図7）

地域ケア会議 助言者（専門職） 役割

助言者（専門職）	役割
医師	<出席する場合> 病状や障害を把握した上で、医学的な観点から事例の予後予測、対象者の動作や活動についての助言を行います。 <出席しない場合> 事例提出者（プラン作成担当・介護サービス事業所）が医師への確認事項がある場合や助言を必要としている点について、事前に文書等による情報提供が必要です。 <留意点> かかりつけ医のいる事例については、事例の予後予測や治療方針等について事前に文書等で確認するとともに、地域ケア会議で検討後は検討内容を文書等で報告することが重要です。
歯科医師	<出席する場合> 歯科疾患、口腔機能、口腔衛生の観点からの助言を行い、事例の予後予測を行います。 <出席しない場合> 歯科衛生士及び事例提出者（プラン作成担当・介護サービス事業所）が歯科医師への確認事項がある場合や助言を必要としている点について、事前にコメントしておくという形で関わることもできます。 <留意点> かかりつけ歯科医のいる事例については、事例の予後予測や治療方針等について事前に確認するとともに、地域ケア会議で検討後は検討内容を報告することが重要です。
薬剤師	事例に処方されている薬に関する情報提供（重複投薬・副作用等）及び服薬管理の観点からの助言を行います。
理学療法士	主に基本動作能力（立ち上がり、立位保持、歩行等）の回復や維持、悪化の防止の観点からの助言を行います。
作業療法士	主に応用的動作能力（食事・排泄等）、社会的適応能力（地域活動への参加・就労等）の回復や維持、悪化の防止の観点からの助言を行います。

図6

地域ケア会議 助言者（専門職） 役割

助言者（専門職）	役割
言語聴覚士	主にコミュニケーション（話す）・聴覚（聞く）・摂食（食べる）に障害を抱える事例に対し、各能力の回復や維持、悪化の防止の観点からの助言を行います。
管理栄養士	日常生活を営む上で基本となる食事について、適切な栄養摂取といった観点から、助言を行います。
歯科衛生士	口腔衛生の観点からの助言を行います。 歯科医師が地域ケア会議に出席することが難しい場合は、事前に歯科衛生士が、歯科医師から歯科疾患、口腔機能、口腔衛生の観点からの助言や事例の予後予測について情報を得るといった形で連携をとることが求められます。

図7

2. 嘉麻市の概要

嘉麻市は、平成17年に山田市、嘉穂町、稲築町、碓井町の1市3町が合併した自治体である。面積135.11km²で福岡県のほぼ中央に位置し、北は飯塚市に、東は田川市、川崎町、添田町に、西は桂川町に、南は朝倉市、東峰村にそれぞれ接している。また、平成30年4月現在で高齢化率37.4%と高く、全世帯数のうち約4軒に1軒は単独高齢者世帯となっている。（図8）

3. 嘉麻市の自立支援型地域ケア会議の誕生まで
嘉麻市においても平成26年度より高齢者福祉サービス（配食サービス、緊急通報システム等）の会議をベースに、徐々に様々な専門職や事業所が参加する形になるように自立支援型地域ケア会議が作られた。また、それと平行して認知症や困難事例をとりあげた「認知症ネットワーク調整会議」も作られてきた。平成30年からは、政策形成機能をもつ「嘉麻市地域包括ケアシステム推進会議」が開催されるようになった。（図9、図10、図11）

嘉麻市の高齢者の現状

1. 総人口と高齢者数、高齢化率

※平成30年4月1日現在

総人口		0～14歳	15～64歳	65歳以上	率	70歳以上	75歳以上
男	18,127 人	2,249 人	10,064 人	5,814 人	32.1 %	3,745 人	2,435 人
女	20,785 人	2,127 人	9,936 人	8,722 人	42.0%	6,515 人	4,968 人
計	38,912 人	4,376 人	20,000 人	14,536 人	37.4 %	10,260 人	7,403 人

2. 高齢者のいる世帯数

全世帯数	高齢者単独世帯数 A			高齢者夫婦のみの世帯数 B	A・B以外の 高齢者同居世帯数 C	高齢者のいる世帯数 A+B+C
18,787	男	女	計	2,207 (11.7%)	3,534 (18.8%)	10,677 (56.8%)
	1,345 (7.2%)	3,591 (19.1%)	4,936 (26.3%)			

8

図8

嘉麻市の地域ケア会議の種類について

第1週・第2週 (木曜日)	自立支援型個別地域ケア会議	対象)要支援・事業対象者
第4週 (木曜日)	認知症ネットワーク調整会議	対象)認知症・困難事例

※認知症ネットワーク調整会議について

自立支援型個別地域ケア会議とは違い、ケアマネや在宅介護支援センター相談員や、民生委員、医療機関の相談員、地域の事業所等、様々な方が相談できる会議である。

例)

- 認知症にともなうゴミの片づけ問題ケース
- 認知症の医療受診につなげるケース
- 独居にてアルコール依存症で家族近隣から支援が難しいケース
- 高齢者の車の運転についてのケース
- オレンジサロン内での認知症の方が利用できるための支援の相談 等

図9

嘉麻市地域ケア会議までの経過 ①

平成26年度

包括ケア会議

○参加メンバー
・高齢者相談支援センター
・保健師、社会福祉士、
認知症地域支援推進員、
在宅医療推進コーディネーター
・高齢者介護課職員
・在宅介護支援センター職員

●高齢者福祉サービス(配食サービス、緊急通報システムなど)の個別案件について協議。

●地域資源の情報共有

●認知症施策、医療・介護の連携などに関する協議・検討・学習

●地域ケア会議の実施に向けた協議

…など



平成27年度

地域ケア会議

●地域ケア会議実施に向けた作業行程の確認

●個別事例の提出様式の検討

●助言者(専門職)の確保と研修会の実施

●ケアマネージャー向け研修会の実施

●会議の進め方の確認と模擬ケア会議の実施

●手引書の作成(ケアマネージャー向け、助言者向け)

…など

図10

嘉麻市地域ケア会議までの経過 ②

平成28年度

地域ケア会議

●自立支援に向けた地域ケア会議の実施

●薬剤師の方の助言者参加開始

●助言者(専門職)の確保と研修会の実施

●ケアマネージャー向け研修会の実施

●発表者のケアマネージャーの事前打ち合わせの充実

●地域ケア会議に、事業所の参加開始

●包括支援センター以外の居宅介護支援事業所の参加開始

…など



平成29年度

●個別課題解決の地域ケア会議から、嘉麻市地域ケア会議

「助言者連携会議」実施(ネットワーク構築機能、地域課題発見機能)

●モデル市として介護予防活動普及展開事業の実施

●嘉麻市地域包括ケアシステム推進会議設置要綱作成

平成30年度

●地域ケア会議 推進会議の実施

●個別地域ケア会議実施後 経過の報告会議実施

●嘉麻市地域包括ケアシステム推進会議の実施

図11

4. 嘉麻市地域ケア会議実施内容

1) 専門職の出務要請について

嘉麻市の自立支援型地域ケア会議では、各専門職団体から4～5名の助言者の推薦を頂き、任期2年で登録している。登録された助言者は、上半期(4月～9月)、下半期(10月～3月)の開催日程で振り分けられ、事前に市より助言者に半期毎のスケジュールが出されている。

2) 地域ケア会議当日の流れ

嘉麻市の地域ケア会議では、資料は事前に配布されておらず、当日読み込み形となっている。事前に5分資料の読み込みがあり、介護支援専門員、介護サービス事業所からの説明があり、おおむね30分で1事例の構成となっている。助言者は、質問と助言を合わせて、一人当たり3～5分程度の持ち時間で、質問や助言をまとめて、わかりやすく伝える事が求められている。(図12)

地域ケア会議における進行の流れ

項目	所要時間	ポイント【月刊ケアマネジメント 2012.8 引用】
①資料読み込み	約5分	●司会者はポイントを絞って資料に目を通し、おおよその状態像をイメージする。 ●参加者は、自らの専門分野を中心に内容を確認する。 例えば保健師・看護師は医療リスクの高い人の生活上の注意点や服薬内容に対して支援計画が妥当かという視点 社会福祉士は、独居や認知症ケース等に対する権利擁護の視点 ●助言者は、自らの専門分野を中心に内容を確認する。
②プラン作成者の概要説明	約3分	●現在の状態(生活機能低下)に至った個人因子・環境因子を簡潔に説明 (自立を阻害している背景を洞察する事が重要) ●ADL・IADLの解説 → 改善可能な機能と重要ポイントを説明
③事業者からサービス計画の説明	約3分	●利用するサービス事業者からサービス計画についての説明 (運動器等の評価をしている場合はその内容)
④全参加者からの質問・意見	約16分	●司会者が課題を整理して状態像を絞り込んだうえで進行する。 ケースの本質(自立を阻害している要因)や支援計画・サービス計画の注意点などについて、端的に言語化してまとめ、共通認識(抽出した課題)に漏れが生じないようにする。 ●OJTの場である事を意識して、参加者に発言を促す。 (自ら進んで発言しやすい環境を作る。多少的が外れてもOK、いい緊張感の中会議を進める事が重要)
⑤ まとめ	約3分	●ケアマネジャーや事業者が当面行う必要がある課題(医師への確認、専門医の受診、再アセスメント、家族からの事情聴取など)がある場合には、その漏れがないように最後に確認して、本人、家族への説明と合意形成を図るよう促す。 6ヶ月後や12ヶ月後などの予後について確認する。
1事例あたりの所要時間		約30分

3) 地域ケア会議終了後の助言者ミーティングについて(助言者として気をつける事)

嘉麻市では、地域ケア会議終了後、参加された助言者を集めて、15分程度ミーティングを実施している。助言者は、毎回同じ人が参加しているわけではないので、会議の変更点、注意事項等の説明を実施している。また、地域ケア会議での助言の内容に関しての振り返りを実施することで、次の地域ケア会議に向けての助言、質問の仕方や、作業療法士としての生活課題の整理の仕方など専門職の情報交換や教育となっている。(図13)

4) 助言者研修会について

嘉麻市では、助言者向けに研修会を嘉麻市独自で行っている。各専門職団体でも助言者の推薦にあたり研修会を実施しているが、地域ケア会議は市町村事業であるため、地域ケア会議の構成が各市町村違い、嘉麻市の地域ケア会議の目的、方向性を理解してもらうため実施している。(図14)

新規で助言者になった場合、嘉麻市地域ケア会議の手引きを使用して、市の現状、地域ケア会議の流れ、注意点などを行政より講義がある。年に一度、地域ケア会議に出席している助言者全員を

助言者ミーティングの内容(一部)

○質問 助言の仕方に気をつける

- ・相手を指定して質問、助言を行う
- ・曖昧な助言ではなく 持ち帰れて使える助言

○ADL IADLの整理が重要

- ・利用者の家庭内役割、地域内役割、仕事を見つける
- ・活動性が高まるためのキーポイントを探る

○介護支援専門員が担当して期間が短いのか？長いのか？

(担当して短い場合や新規のケース)

まだ得られている情報が少ない為、答えることができず、質問攻めみたいになってしまう。

→質問より評価する際のポイントや、気をつけて聞いたり、見たりした方がいいことを助言する

嘉麻市地域ケア会議に参加される方へ

- ①地域ケア会議に参加している全員が、「参加して良かった」「また参加したい」と思えるような会議になるように、参加者全員で嘉麻市地域ケア会議を作っていきます。
- ②嘉麻市地域ケア会議を通して、嘉麻市住民のQOLの向上や地域課題の発見のため、活発な意見交換ができるように、参加者は積極的に発言しましょう。
- ③嘉麻市地域ケア会議で議論された内容が、形式的なものとして終わらないように、利用者のサービスまで届くように議論して、実行しましょう。
- ④嘉麻市地域ケア会議により、嘉麻市の理念である『高齢者の笑顔がやさしい、健やかで、元気に暮らせる長寿のまち』が実現できるように目指しましょう。



図13

集めて、過去1年間の助言実績、生活課題の実績、地域課題等の地域ケア会議の実績報告と、助言者間の情報共有を行う研修会を実施している。助言者に市の現況、地域ケア会議の現況を知ってもらうことで質の向上、質の均一化につながっている。

5. 終わりにOTに求められていること

地域ケア会議における作業療法士の役割は大きいと考える。病気や障害があっても、生活するための課題を見つけ、心身や活動、参加にバランスよく働きかける助言ができるからである。その中で、「いい助言」とは、課題を整理して、そのための解決策を提示するだけでなく、地域ケア会議に参加している、介護支援専門員、介護サービス事業所が利用者のところに持って帰り実践できるような理解される助言だと考える。これから作業療法士は、地域ケア会議に限らず、介護予防等でも、「伝え方」ではなく、「伝わり方」にこだわっていき、自分の作業療法が地域に伝わるように実践してもらいたいと考える。

文献

- 1) 嘉麻市地域ケア会議手引き書
- 2) 厚生労働省ホームページ：介護予防普及展開事業 市町村手引き (www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/0000169398.pdf)
- 3) 厚生労働省ホームページ：介護予防普及展開事業専門職手引き (www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/0000179799.pdf)



平成29年度 第6回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成30年2月19日(月) 19時00分～21時00分
- II. 場所 : らそうむりハビリススポーツガーデン
- III. 理事総数 : 20名
- IV. 出席理事数 : 16名
- V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 濱本孝弘, 中川昇,
深町晃次, 青山克実, 手島智康,
許山勝弘, 永田敬生, 大田登志樹,
轟木健市, 有久勝彦, 黒木勝仁,
平岡敏幸, 田中真純, 玉野和男, (以上, 理事) .
吉田秀樹, (以上, 監事) .
鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子 (以上, 事務局)
- 欠席者氏名 : 佐藤稔, 福田裕樹, 深井伸吾, 沖雄二, (以上, 理事) (敬称略)
原口健三, (以上, 監事)

VI. 審議事項

1. 平成31年度32年度に向けた役員改選・代議員改選への準備及び理事会の構成について

(志井田代表理事) →承認

平成30年度役員及び代議員改選についての理事会推薦の確認と平成32年度に向けての組織改編の準備について提案.

2. 総合福祉団体定期保険導入について(深町福利部担当理事)

→承認

会員の福利厚生事業の充実を図るため継続審議となっていた総合福祉団体定期保険の導入について, 日本作業療法士協会に入会している会員については「作業療法士総合補償保険制度」の基本プランに自動加入しており, 県協会独自の総合福祉団体保険については見合わせることを提案.

3. 謝金規程(別表1)の修正について(手島規約委員会担当理事)

→承認

謝金規程について修正の提案.

4. 福岡県作業療法協会正規職員就業規則, 給与規程について(中川事務局長)

→承認

就業規則の変更について提案.

5. 福岡東ブロック研修会の講師承認について(大田福岡東ブロック担当理事)

→承認

以下の講師依頼について報告.

手島智康氏(九州医療スポーツ専門学校)

6. 正会員の入会について(中川事務局長)

→承認

平成29年12月から平成30年1月までの間に17名の入会があった.

7. 平成30年度、県士会休会者の承認について（中川事務局長）

→承認

平成30年度の県士会休会について46名の届出があった。

VII. 協議事項

8. 第22回福岡県作業療法学会・市民公開講座の広報について（有久学術部担当理事） →承認

第22回福岡県作業療法学会・市民公開講座の広報について2社のフリーペーパー業者に見積もりを依頼したとの報告。

VIII. 報告事項（特記報告のみ記載。他、資料参照とする）

9. 代表理事行動について（志井田代表理事）

平成29年12月～平成30年1月の代表理事行動について報告。

10. 県協会宛て依頼案件について（志井田代表理事）

平成29年12月1日から平成30年1月31日までの間に県協会宛てに20件の依頼（研修会案内依頼4件、講師・委員推薦依頼9件、共催・講演依頼3件、その他依頼4件）があった。

11. 災害対策について（竹中業務執行理事）

災害対策関連の研修会への参加等取り組みについて報告。

12. 教育部主催研修会について（青山教育部担当理事）

主催研修会の開催報告。

13. 作業療法フェスタについて（永田事業部担当理事）

作業療法フェスタに多くの参加者があった。

IX. 次回開催日

平成30年度 第1回理事会

日時： 平成30年4月9日（月）19：00～

場所： らそうむりハビリススポーツガーデン

平成30年度 第1回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成30年4月9日(月) 19時00分～20時40分
- II. 場所 : らそうむリハビリスポーツガーデン
- III. 理事総数 : 20名
- IV. 出席理事数 : 17名
- V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 濱本孝弘, 中川昇,
深町晃次, 青山克実, 手島智康, 許山勝弘, 永田敬生, 大田登志樹,
轟木健市, 有久勝彦, 黒木勝仁, 佐藤稔,
平岡敏幸, 田中真純, 玉野和男, (以上, 理事) .
吉田秀樹, (以上, 監事) . 鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子 (以上, 事務局)
- 欠席者氏名 : 福田裕樹, 沖雄二, 深井伸吾, (以上, 理事) (敬称略)
原口健三, (以上, 監事)

VI. 審議事項

1. 平成30年度役員改選・代議員選挙について (中川事務局長) →承認
選挙管理委員会から平成30年度役員及び代議員改選について会員データ確定, 定数及び日程について提案.
2. 社員総会の開催について (中川事務局長) →承認
以下のように提案があった.
日時 平成30年6月10日(日) 10:00～11:00
場所 福岡県作業療法協会事務所
議案 平成29年度決算・事業報告
役員選任 (平成30年度改選)
3. 理事会使用でのタブレット費用について (中川事務局長) →承認
理事会使用のタブレットにおいてハラダビジネス, フジモトの2社に見積もりを依頼したこと
の提案. 費用面など検討を重ねながら準備を進めていく.
4. SIG申請・承認について (青山教育部担当理事) →承認
以下のSIGについて申請があったとの報告.
申請団体名 ナチュラルハートフルケアネットワーク福岡
5. 地域包括ケアシステム推進委員会主催研修会の講師承認について (代行にて志井田代表理事) →承認
以下の講師依頼について報告.
講師
初井剛士氏 (らそうむ内科クリニック)
長野久雄氏 (くるめ地域支援センター)
上田元紀氏 (直方病院)

木村太郎氏（誠愛リハビリテーション病院）

都甲幹太氏（あやめの里）

ファシリテーター

黒木勝仁氏（サンシャインセンター）

黒田隆之氏（アイエック訪問看護ステーション）

田中聡氏（リライブ）

佐野功一氏（宗像水光会病院）

平岡敏幸氏（飯塚記念病院）

深井信吾氏（いきいきリハビリケア）

6. 筑後ブロック研修会の講師承認について（轟木筑後ブロック担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

坂本智洋氏（姫野病院）

西裕介氏（神代病院）

鎌守浩太氏（障害者就業・生活支援センターぼるてセンター長）

坂本暁彦氏（NPO法人ゆとり）

7. 筑後ブロック研修会の講師承認について（轟木筑後ブロック担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

伊丹洋子氏（株式会社 すりいでいネーション

介護福祉士 福祉用具プランナー管理指導者）

8. 福岡ブロック研修会の講師承認について（黒木福岡ブロック担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

土倉万代氏（土倉外科胃腸科医院 看護師）

鎌田陽之氏（ケアセンターひまわり苑）

9. 福岡東ブロック研修会の講師承認について（大田福岡東ブロック担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

福田裕樹氏（新やなぎ健診クリニック）

伊賀信也氏（柳川リハビリテーション病院）

諏訪下武志氏（八幡厚生病院）

松尾雅宣氏（宗像水光会総合病院）

田中壯昇氏（宗像水光会総合病院 管理栄養士）

片山智裕氏（溝口外科整形外科病院）

10. 筑豊ブロック研修会の講師承認について（平岡筑豊ブロック担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

古賀昭彦氏（帝京大学福岡医療技術学部）

11. 北九州ブロック研修会の講師承認について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

福田裕樹氏（新やなぎ健診クリニック）

伊賀信也氏（柳川リハビリテーション病院）

12. 北九州ブロック研修会の講師承認について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
原麻里子氏（国際医療福祉大学福岡保健医療学部）
13. 北九州ブロック研修会の講師承認について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
香月真氏（シティケア長住）
14. 正会員の入会について（中川事務局長） →承認
平成30年2月から平成30年4月1日までの間に12名の入会があった。

VII. 協議事項

15. 福岡県作業療法学会におけるサーバーおよびドメインの維持について
(有久学術部担当理事)
→承認
平成31年度開催予定である第23回福岡県作業療法学会のホームページを開設するにあたりサーバーとドメインを維持することの提案。

VIII. 報告事項（特記報告のみ記載。他、資料参照とする）

16. 代表理事行動について（志井田代表理事）
平成30年2月～平成30年3月の代表理事行動について報告。
17. 県協会宛て依頼案件について（志井田代表理事）
平成30年2月1日から平成30年3月31日までの間に県協会宛てに20件の依頼（研修会案内依頼2件，講師・委員推薦依頼16件，共催・講演依頼1件，その他依頼1件）があった。
18. 平成30年度主な年間スケジュールについて（志井田代表理事）
平成30年度の主なスケジュールについて報告。
19. 介護予防市町村支援事業実施要綱の改正について（竹中業務執行理事）
介護予防市町村支援事業実施要綱の改正について報告。
20. 教育部主催研修会について（青山教育部担当理事）
主催研修会の開催報告。

IX. 次回開催日

平成30年度 第2回理事会
日時： 平成30年6月10日（月） 11：00～
場所： 福岡県作業療法協会事務所

各部・委員会からのお知らせ

【教育部】

1. 電子会員証および研修受講カードの取り扱いについて

今年度から導入された電子会員証および日本作業療法士協会 会員ポータルサイトの周知が不十分なこと、バーコードシステムとその周辺機器の未整備なため、電子会員証の手続きが混乱することが必至だと推察されるため、県協会として以下の通り対応を統一した。

今年度に限り、日本作業療法士協会会員であることが参加要件の研修会等の際に、電子会員証が提示できない会員の方は、研修受講カードの提示でも受け付けることとした。

2. 主催研修会報告

1) MTDLP基礎研修(現職者選択研修：必須)

福岡ブロック：平成30年6月24日

(福岡赤十字病院 椎木記念ホール)

講師：宮本香織

参加者：60名

3. 平成30年度主催研修会予定(詳細は県協会ホームページをご参照ください)

1) 老年期分野研修(現職者選択研修)

日 時：平成30年8月26日(日)

場 所：レインボープラザ(北九州市)

2) 精神分野研修

日 時：平成30年10月27日(土)

場 所：A.R.Kビル貸会議室 大ホール2階

3) 身体分野研修

日 時：平成30年11月予定

場 所：聖マリア学院大学

4) 地域分野研修

日 時：平成30年11月11日(日)

場 所：都久志会館

5) MTDLP関連研修

(1) MTDLP基礎研修(現職者選択研修：必須)

筑豊ブロック：平成30年7月22日(飯塚記念病院)

福岡東ブロック：平成30年8月19日(場所未定)

筑後ブロック：平成30年9月30日(場所未定)

北九州ブロック：平成30年10月14日(場所未定)

※会員の受講推進のため、平成30年度から5年間に限り、受講料を2,000円の設定で開催する。

(2) MTDLP事例検討会

福岡ブロック：平成30年10月21日(場所未定)

筑豊ブロック：平成30年11月18日(場所未定)

福岡東ブロック：平成30年12月16日(場所未定)

筑後ブロック：平成31年1月20日(場所未定)

北九州ブロック：平成31年2月17日(場所未定)

(3) MTDLP事例登録に向けた研修会

北九州ブロック：平成30年9月2日

(九州医療スポーツ専門学校)

(4) 県協会でのMTDLP取得状況(H30.2月末現在)

MTDLP基礎研修修了者：1189名(21898名)

MTDLP研修修了者：83名【7.0%】

(4339名【19.8%】)

※%表示=MTDLP研修修了者/基礎研修修了者

MTDLP指導者：6名(130名)

【学術部】

1. 『作業療法・福岡』第17号投稿論文募集

ISSN(国際標準逐次刊行物番号)1881-6010

発刊予定：平成31年3月

募集原稿：原著、短報、報告、症例報告など

募集期間：平成30年9月30日(日)17:00まで

申込方法：執筆申込書と完成原稿をご提出ください。なお論文掲載の可否につきましては、筆頭執筆者へ通知いたします。

※執筆申込書は本協会ホームページにあります。<http://www.fuku-ot.org/> をご覧下さい。

※本誌に掲載される著作物の著作権は福岡県作業療法協会に帰属します。

提出先：小倉リハビリテーション学院 亀田秀一
までEメールで送付してください。

E-Mailアドレス：

syuuichi-kameda@kokura-reha.jp

※査読が導入された学術的価値の高いジャーナルとなっています。今後の自身のステップアップの足がかりとして、自身の研究を形として残す第一歩として、自身の作業療法の成果をまとめてみる機会として、是非投稿をお願いいたします。

【保健福祉部】

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) 30年度第1回地域包括ケアシステム推進会議

①日時：平成30年5月16日(水)

②場所：いきいき那珂サービスセンター

③出席者：平岡敏幸、大田登志樹、田中聡、
黒田隆之、佐野功一、長野久雄、
萩井剛士、深井伸吾

④内容：自立支援ケア会議の活動報告、
活動予定について

(2) 地域ケア会議に関する研修会

①日時：平成30年6月3日(日)

②場所：JR博多シティ会議室9階

③出席者：39名

④内容：地域包括ケアシステム・地域ケア
会議について
各地域の地域ケア会議について
地域ケア会議におけるMTDLPの活用
について
グループワーク

- ⑤講師： 梶井剛士（らそうむ内科・リハビリテーションクリニック）
 長野久雄（くるめ地域包括支援センター）
 上田元紀（直方病院）
 木村太郎（通所リハビリテーション誠愛）
 都甲幹太（あやめの里）

(3) 30年度第1回特別支援教育対策企画会議

- ①日時：平成30年5月21日（日）
 ②場所：麻生リハビリテーション大学校
 ③出席者：曾根川達司，藤川貴子，
 鬼塚みゆき，武藤美智恵，
 長野清一郎，深井伸吾

- ④内容：30年土活動計画，研修企画検討

(4) 30年度第1回福祉用具対策委員会

- ①日時：平成30年6月9日（土）
 ②場所：TKP博多駅筑紫口ビジネスセンター
 ③出席者：竹中祐二，長尾哲男，渡邊慎一，
 平岡敏幸，上田元紀，熊添潤一，
 町田真一朗，梅崎園美，櫻木美穂子

- ④内容：2018年度生活行為工夫情報モデル事業

(5) 30年度第1回認知症作業療法推進会議

- ①日時：平成30年5月8日（火）
 ②場所：いきいき那珂デイサービスセンター
 ③出席者：濱本孝弘，都甲幹太，平岡敏幸，
 中島純二，島本和孝，深井伸吾
 ④内容：認知症アップデート研修について

【福岡ブロック】

1. 事業企画会議開催

- 日時：平成30年4月19日（木）
 場所：都久志会館 602会議室
 参加者：18名
 日時：平成30年6月13日（水）
 場所：都久志会館 501会議室
 参加者：19名

2. 平成30年度 新人オリエンテーション

- 日時：平成30年5月23日（水） 19:00～20:30
 場所：なみきスクエア中研修室（福岡市東区）
 参加者：14名（新人作業療法士）

3. 平成30年度第1回福岡ブロック研修会

- 日時：平成30年6月8日（金） 19:00～20:30
 場所：ふくふくプラザ 5階 視聴覚室
 内容：「リハスタッフのための急変対応と基礎知識～安全に実施するために必要なこと～」

講師名：土倉 万代 先生

（土倉外科胃腸科医院 看護師）

参加者：42名（作業療法士，他理学療法士1名）

【北九州ブロック】

＜北九州ブロック＞

ブロック企画会議開催

日時：平成30年5月7日（月） 19:00～

場所：（公社）福岡県作業療法協会事務所

第1回北九州ブロック全体研修会

日時：平成30年4月28日（木） 19:00～21:00

会場：製鉄記念八幡病院

テーマ：平成30年診療報酬介護報酬改定について

講師：福田裕樹氏（新やなぎ健診センター）
 伊賀信也氏（柳川リハビリテーション学院）

参加者：70名

北九州ブロック新人歓迎会

日時：平成29年5月25日（金） 19:00～

会場：美×食×酒GEN×GEN（八幡西区黒崎）

参加者：約30名

＜小倉北・門司エリア＞

エリア事業企画会議開催

日時：平成30年5月8日（火） 19:00～

場所：新小文字病院すみれ寮

第1回北九州ブロック研修会

日時：平成29年6月15日（金） 19:00～

会場：北九州市立男女共同参画センタームーブ
 大セミナールーム

テーマ：高齢者の社会参加を創る

～Rorenという活動を通じて～

講師：香月真氏（シティケア長住作業療法士）

参加者：56名

＜小倉南・京築エリア＞

エリア事業企画会議開催

日時：平成30年5月17日（木） 19:00～

場所：北九州市立曾根東市民センター

＜八幡西・遠賀・中間エリア＞

エリア事業企画会議開催

日時：平成30年5月17日（火） 19:00～

場所：ごえん

＜八幡東・戸畑・若松エリア＞

エリア事業企画会議開催

日時：平成30年4月10日（火） 18:30～

場所：戸畑共立病院

＜広報部＞

広報誌「北九OTネットvol. 27」発行

【筑豊ブロック】

＜公1＞

I. 事業企画会議

第1回筑豊ブロック事業企画会議

日時：平成30年4月17日火曜日

会場：飯塚記念病院

参加者：20名

内 容：今年度役割について、他

第2回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成30年6月19日火曜日

会 場：飯塚記念病院

参加者：17名

内 容：人材育成研修について、

MTDLP基礎研修について、他

II. 研修会報告

第1回 筑豊ブロック研修会

日 時：平成30年6月9日木曜日

会 場：飯塚記念病院

テーマ：カナダ作業遂行測定（COPM）について
トピック－海外の精神保健視察報告

講 師：古賀昭彦 先生

（帝京大学 福岡医療技術学部 作業療法士）

参加者：27名（含OTS1名）

<公2>

I. 広報誌 第24号 平成30年4月15日発行

【今後の予定】

<公1>

I. 事業企画会議

第3回筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成30年8月20日月曜日

会 場：飯塚記念病院

II. 研修会

第2回筑豊ブロック研修会

日 時：平成30年10月28日日曜日

会 場：飯塚記念病院予定

テーマ：地域ケア会議に資する人材育成研修

講 師：依頼中

<公2>

I. 広報誌 筑豊OT TIMES 第25号 平成30年7月
15日発行予定

【筑後ブロック】

<公1>

1) 事業企画会議

第1回筑後ブロック事業企画会議

日 程：平成30年4月16日（月）19:00～

場 所：筑後商工会議所

出 席：30名

2) 久留米地区（A地区）企画会議

日 程：平成30年3月8日

場 所：高良台リハビリテーション病院

出 席：3名

3) 第1回八女・筑後地区（B地区）企画会議

日 程：平成30年5月

場 所：特別養護老人ホーム 木もれ日苑

出 席：4名

4) 第6回有明地区（C地区）企画会議

日 程：平成30年3月12日18:00～19:30

場 所：デイサービス ライズ

出 席：5名

5) 第1回朝倉地区（D地区）企画会議

日 程：平成30年5月

場 所：甘木中央病院

出 席：7名

6) 第8回広報部企画会議

日 時：平成30年3月12日

場 所：医療法人松岡会松岡病院

出 席：4名

7) 地域ケア会議助言者養成研修会推進会議
（有明地区）

日 時：平成30年3月8日

場 所：帝京大学 福岡医療技術学部

出 席：3名

8) 地域ケア会議助言者養成研修会推進会議
（朝倉地区）

日 時：平成30年3月6日

場 所：甘木中央病院

出 席：6名

<公2>

1. 広報活動

1) Facebookでの広報活動

【今後の活動予定】

<公1>

1. 事業企画会議

1) 第2回筑後ブロック事業企画会議

日 程：平成30年6月18日19:00～

場 所：筑後商工会議所

2. 研修会

1) 久留米地区研修会

日 時：平成30年10月予定

2) 平成30年度事例検討報告会

①久留米地区：平成31年2月予定

②八女・筑後地区：平成30年11月予定

③有明地区：平成30年10月予定

④朝倉地区：平成31年1月予定

Occupation

青洲会病院 河野 純平

皆さん初めまして。私は福岡県の粕屋町という場所にある福岡青洲会病院に勤務しています。当院は急性期～回復期まで計213床、対象疾患や年齢層も様々です。また、法人内に介護老人保健施設や通所・訪問リハビリテーション等を所有しており、職員一同で地域完結型の医療を心がけて提供しています。

私は入職して3年目になるのですが、普段は急性期の整形外科病棟で入院後・手術後の方や、外来で通院される方へのリハビリテーションを主に行っています。ただ、携わる時間の差はあれど、ICU等の急性期から通所リハビリテーション等の生活期まで幅広い経験をさせて頂きました。その中で感じたのは、作業療法士として、また医療機関で働くチームの一員として、「患者さんや、患者家族の将来」を見据えた介入をしなければいけないという事です。

入職当時、ある程度の業務を覚えて、患者さんの訓練に携わる時間が増えた頃は、目の前の訓練内容を行う事ばかりに必死になっていました。病棟内でトイレ

動作が自立する事、杖歩行が可能になる事…患者さんが将来どういう生活を送るのかという事にまで考えが及ばず、自分が関わる入院生活の中で如何に能力を高くしようかという事に目を向けていた様な気がします。もちろん自宅や施設へ退院する上で、もしくは仕事へ復帰する上で、入院中での動作能力は高い方が良いに決まっています。ある程度環境が整っている病棟内での生活が自立していないのに、自宅内での生活が自立するとは考えにくいからです。しかし、病棟内での杖歩行が自立したからといって、退院後も杖歩行が自立する保証はありません。買い物に行かれる、地域への活動に参加される方であれば、屋外での歩行も視野に入れなければなりません。入院中は一人でトイレに行き、服を着替え、入浴も自立していたからといって、自宅で同じ様に行えるかどうかは分かりません。自宅内に手すりが付いていなかったら、介助が必要になる可能性だってあります。入院中の生活はあくまで通過点、短期目標や長期目標であって、最終目標にはなり得ないのだという事を入職した当時の私は分かっていませんでした。

冒頭でもご紹介させて頂きましたが、私が働く福岡青洲会病院は、福岡県の粕屋町という場所にあります。聞き覚えのない方も多いと思いますが、福岡県の中心である博多駅から車で約20分程度の距離です。病院の周囲は街中、というよりもどちらかと言えば田舎町に近いイメージです。もちろん高齢者の方も多く生活している地域であり、当院に入院する方の多くは町内や周辺の市町村に居を構えています。私が所属している整形外科病棟であれば、骨折して入院し、手術やリハビリテーションを行って自宅に帰る、という方が多くいらっしゃいます。ただ、中には自宅退院後しばらくして再度骨折を受傷し、入院をされるという方がいる事も事実です。私自身も、入院中のリハビリテーションを担当した患者さんが、自宅退院して数ヶ月後、短ければ数週間後に、再度骨折を受傷して入院した、という経験をした事があります。入退院を繰り返してしまう方の中には骨粗鬆症を患っていたり、自己判断で身体に負荷が掛かる事を行ってしまった、という方も居ます。しかし、「仕方ない」の一言で片付けてしまうのではなく、「自分達は本当に最良の訓練を行ったのだろうか」「本人や家族への退院支援・指導は十分なものだったのだろうか」と問い掛ける事が、入院中のリハビリテーションの質の向上、さらには患者さんの退院後のQOL向上に繋がるのではないかと、未熟者ながらに思います。

「患者さんの将来を考える」、「退院後の生活を見据える」…作業療法を学び始めた学生の頃から理解はしていたつもりでも、患者さんに関わった中でしか分からない事も、数多くあると感じました。自分が作業療法士としてどういう関わり方をすべきなのか、これからも日々考えながらリハビリテーションに携わっていこうと思います。



リレーエッセイ

西野病院 林 佑樹

西野病院OTの林佑樹と申します。リレーエッセイということで何を書こうとずっと考えていましたが、当院紹介と自分語りをしていきたいと思います。

「西野病院って見たことあるな…」と思われている方もいるかもしれません。そうなんです。実は半年くらい前に当院のOT中野さんがリレーエッセイを書いているのです。困りました…病院のことを書くことがありません…(笑)病院の一番の特徴は、中野さんが以前に書いてくれているようなので、母体であるふらて会話をしましょうか。ふらて会グループは医療法人と社会福祉法人に分かれており、病院(回復期病棟・維持期病棟・一般病棟)、老健、グループホーム、デイサービス、訪問看護・リハなどの様々な関連施設があり、入院から在宅までくまなくサービスを提供できるようになっています。またふらてとは、ラテン語で『仲間』を意味する【frate】を語源としており、『同じ理念をもって共に歩んで行く仲間』という意味で、職員一丸となって患者様・利用者様に適切な医療・サービスの提供を心掛け日々の仕事に励んでいます。

さてそろそろ簡単にではありますが、自分語りをしようかなと思います。私はOTになって5年間ずっと回復期に携わってきました。ですが今回、訪問リハビリに移動になりました。新しい部署で毎日緊張の連続です。業務を覚えるのは大変ですが、中でも一番大変なのは、利用者様の自宅の場所を覚えられないことです。途中で迷子になりかけることもちらほらあります。ですが一つずつしっかりと仕事を覚えて、利用者様の力になれるように頑張っていきたいと思っています。

最後に私がOTになってからずっと心掛けていることがあります。『患者様の前では常に笑顔』当たり前のことですがとても大事なことだと思います。訪問リハでも忘れることなくしっかりと実践していきたいと思っています。



会員動向調査

調査期間 (2018. 3. 6～2018. 6. 5)

福岡県作業療法協会 会員数2,990名(正会員2,681名 自宅会員309名)

<入会>

仲野 綱一郎 小倉リハビリテーション病院 : 2018年4月

村田 奈保子 九州栄養福祉大学 : 2018年5月

倉橋 祥子 新小文字病院 : 2018年1月

谷川 良博 自宅 : 2018年3月

谷川 郁代 デイサービスセンターとばた : 2018年3月

久保田 英靖 小波瀬病院 : 2018年4月

大田 兼寛 相談支援センター みらい : 2018年4月

小西 マナ おかがき病院 : 2018年4月

野田 沙嘉 北九州八幡東病院 : 2018年5月

本田 妙子 大手町リハビリテーション病院 : 2018年4月

角 美穂 福岡新水巻病院 : 2018年4月

平岡 航平 福岡新水巻病院 : 2018年4月

平岡 美里 福岡新水巻病院 : 2018年4月

疋田 愛恵 行橋記念病院 : 2018年5月

永野 遙介 九州労災病院 門司メディカルセンター : 2018年5月

三澤 和人 介護老人保健施設 松恒園 : 2018年5月

里田 みなみ 西野病院 : 2018年4月

山田 幸之助 福岡聖恵病院 : 2018年3月

本山 史洋 福岡聖恵病院 : 2018年3月

藤井 美香 福岡東医療センター : 2018年4月

木下 未紗 福岡東医療センター : 2018年5月

花田 綾香 介護老人保健施設 よつづか : 2018年4月

徳永 千紘 誠愛リハビリテーション病院 : 2018年4月

大古場 笑深 誠愛リハビリテーション病院 : 2018年4月

小川 拓也 誠愛リハビリテーション病院 : 2018年2月

相川 瑞希 桜十字福岡病院 : 2018年1月

中村 益伸 桜十字福岡病院 : 2018年1月

高木 美智留 東福岡和仁会病院 : 2018年2月

酒本 由佳 株式会社 悠楽 : 2018年4月

大場 和美 福岡市障がい者就労支援センター : 2018年4月

北股 亜美 福岡徳洲会病院 : 2018年4月

櫻井 俊佑 福岡和白病院 : 2018年4月

小嶋 菜緒子 福岡リハビリテーション病院 : 2018年5月

山田 達己 福岡リハビリテーション病院 : 2018年3月

森田 尚子 福岡みらい病院 : 2018年4月

有富 圭生 新吉塚病院 : 2018年5月

井上 忠俊 大野城市南デイサービスセンター南風 : 2018年5月

土谷 悠 香椎丘リハビリテーション病院 : 2018年4月

森 加菜子 株式会社 麻生飯塚病院 : 2018年5月

渡邊 慈 自宅 : 2018年1月

本多 一登 飯塚嘉穂病院 : 2018年3月

楠森 篤 訪問看護ステーション あけぼの : 2018年3月

矢野 和博 福岡志恩病院 : 2018年1月

有馬 拓己 高良台リハビリテーション病院 : 2018年2月

寺本 布志寿 筑水会病院 : 2018年2月

西田 将人 日高整形外科通所リハビリテーション : 2018年3月

西川 統 株式会社フェイス たっちキッズ永岡 : 2018年3月

高倉 里津子 朝倉健生病院 : 2018年4月

井上 志穂 朝倉健生病院 : 2018年4月

古賀 世樹 みさき病院 : 2018年4月

中村 勇亮 みさき病院 : 2018年5月

浦野 蘭和 丸山病院 : 2018年3月

千代島 希 堀川病院 : 2018年5月

蓑原 彩花 つくし会病院 : 2018年4月

江川 政善 聖和記念病院 : 2018年4月

山川 徹 リハビリ特化型デイサービスよかとこ : 2018年4月

<県内移動>

三好 恭子 山田内科医院 : 2009年8月(浅木病院より)

杉本 淳子 介護老人保健施設 あやめの里 : 2015年11月(戸畑共立病院より)

藤本 隆 リハビリステーション おあしす : 2017年4月(デイサービス くきのはま より)

江原 浩太 介護老人保健施設 翡翠苑 : 2017年12月(東筑病院より)

有働 智弘 おかがき病院 : 2018年1月(新生会病院より)

渡邊 健 戸畑リハビリテーション病院 : 2018年3月(自宅より)

森 里美 産業医科大学病院 : 2018年4月(産業医科大学 若松病院より)

中津留 正剛 産業医科大学病院 : 2018年4月(産業医科大学 若松病院より)

古賀 裕伸	戸畑共立病院	: 2017年4月	平木 優里菜	早稲田イーライフ福岡ドーム南	
	(あやめ訪問看護ステーションより)			訪問看護	: 2018年4月
久々宮 真紀	戸畑リハビリテーション病院			(誠愛リハビリテーション病院より)	
		: 2018年4月	飯塚 恵津子	倉光病院	: 2018年4月
	(戸畑共立病院より)			(大木整形・リハビリ医院より)	
板倉 早希	戸畑共立病院	: 2018年4月	塩見 勇太	千鳥橋病院付属粕屋診療所	
	(戸畑リハビリテーション病院より)				: 2018年4月
仲尾 憂佳	戸畑けんわ病院	: 2017年3月		(たたらリハビリテーション病院より)	
	(大手町病院より)		北村 優弥	千鳥橋病院付属城浜診療所	
松本 興成	大手町病院	: 2018年4月			: 2018年4月
	(小倉リハビリテーション病院より)			(たたらリハビリテーション病院より)	
峯崎 佳世子	自宅	: 2018年4月	田代 明里	福岡みらい病院	: 2017年4月
	(福岡和白リハビリテーション学院より)			(こぐま学園より)	
亀田 秀一	小倉リハビリテーション学院		吉永 知子	訪問看護ステーション誠愛	
		: 2018年4月			: 2015年4月
	(福岡和白リハビリテーション学院より)			(誠愛リハビリテーション病院より)	
島田 泰三	正和なみき病院	: 2018年4月	山下 泰平	友田病院	: 2018年4月
	(正和中央病院より)			(福岡徳洲会病院より)	
岡村 繁男	東和病院	: 2018年4月	森山 明子	友田病院	: 2016年4月
	(甘木中央病院より)			(自宅より)	
長谷 夕子	北九州古賀病院	: 2018年2月	林 亜湖	訪問看護ステーションあおいそら	
	(宗像水光会総合病院より)				: 2017年4月
松村 朋子	福岡聖恵病院	: 2018年2月		(樋口病院より)	
	(自宅より)		花村 智子	善来寺保育園	: 2017年1月
川本 享裕	(株) Rキューブ らそうむ発達			(飯塚記念病院より)	
	支援ルームらいく宗像	: 2018年4月	安藤 栄二	株式会社 RINSHO	: 2018年3月
	(らそうむ発達支援ルーム らいく飯塚より)			(宮田病院より)	
野邊 薫	古賀市社会福祉協議会 通所介護		松川 太一	飯塚嘉穂病院	: 2018年3月
	事業所 は一とふる古賀			(福岡みらい病院より)	
		: 2018年4月	松尾 恵美	みずほデイサービス	: 2018年4月
	(古賀市保健福祉部介護支援課地域活動サポート			(自宅より)	
	センター いきいきセンター ゆい より)		立石 健一	らそうむ内科・リハビリテーショ	
松本 淳志	ライトリハセンター	: 2018年4月		ンクリニック	: 2018年4月
	(浅木病院より)			(健康リハビリテーション内田病院より)	
三浦 裕美子	福西会病院	: 2017年10月	堀口 博	穎田病院	: 2018年4月
	(北九州総合病院より)			(福岡新水巻病院より)	
原田 洋一郎	たたらリハビリテーション病院		叶 真史	大牟田市立病院	: 2017年8月
		: 2017年10月		(大牟田恵愛園より)	
	(千鳥橋病院より)		我妻 愛美	楠病院	: 2017年11月
楠瀬 優希	太宰府市地域包括支援センター			(北九州安部山公園病院より)	
		: 2018年3月	中村 順子	介護老人保健施設 舞風台	
	(株式会社トップラン 元気の里デイサービス				: 2017年10月
	より)			(姫野病院より)	
川野 美紀	千鳥橋病院	: 2018年4月	室岡 真弘	特別養護老人ホーム 木もれ日苑	
	(たたらリハビリテーション病院より)				: 2018年1月
下久保 綾	福岡脳神経外科病院	: 2018年4月		(高木病院より)	
	(岡部病院より)		山田 雄太郎	神代病院	: 2018年2月
有川 智之	溝口外科整形外科病院			(自宅より)	
		: 2018年4月	古賀 春菜	いきいき野中デイサービスセン	
	(久留米総合病院より)			ター	: 2018年4月
宮崎 愛子	介護老人保健施設 あじさい			(白十字病院より)	
		: 2018年4月	古賀 智子	聖マリアヘルスケアセンター	
	(北九州市立門司病院より)				: 2018年3月
				(聖マリア病院より)	

中森 隆夫	リハビリ特化型デイサービス よかところ (大牟田保養院より)	: 2018年4月	眞鍋 宇	: 2018年3月
荒金 直樹	いきいき久富デイサービスセン ター (自宅より)	: 2018年4月	松谷 信也	: 2018年3月
松野 豊	国際医療福祉大学 (柳川リハビリテーション病院より)	: 2018年4月	原田 安季恵	: 2018年3月
光安 香菜恵	久留米総合病院 (高良台リハビリテーション病院より)	: 2018年4月	小倉 由希	: 2018年3月
津村 勇貴	姫野病院 (福岡青洲会病院より)	: 2018年4月	井上 幹	: 2018年3月
大西 なつ美	今立内科クリニック (自宅より)	: 2018年4月	伊東 智佳子	: 2018年3月
<退会者>			山田 洋子	: 2018年3月
諫山 敬一	: 2017年12月		福原 美紗	: 2018年3月
桑野 知恵子	: 2018年1月		佐藤 千秋	: 2018年3月
坂本 賢悟	: 2018年1月		小野 美里	: 2018年3月
二階堂 晴江	: 2018年1月		大杉 真紀子	: 2018年3月
吉田 真理子	: 2018年1月		大崎 ひかり	: 2018年3月
濱田 志穂	: 2018年1月		一富 理恵	: 2018年3月
原田 玲菜	: 2018年1月		池 美智子	: 2018年3月
中原 あすか	: 2018年1月		江口 勇也	: 2018年3月
重村 優臣	: 2018年1月		村田 直也	: 2018年3月
畠田 知江	: 2018年1月		吉田 未来	: 2018年3月
加地 紗也	: 2018年1月		平田 望	: 2018年3月
安楽 匠太	: 2018年2月		中尾 奈々	: 2018年3月
柳田 千穂	: 2018年2月		安永 彩香	: 2018年3月
奥野 里香	: 2018年2月		泉 悟史	: 2018年3月
真珠 宗彦	: 2018年2月		松尾 喜代美	: 2018年3月
松井 隆太	: 2018年2月		久野 真矢	: 2018年3月
塩見 憂奈	: 2018年2月		中山 章平	: 2018年3月
永田 望	: 2018年2月		生田 淳史	: 2018年3月
有岡 光太郎	: 2018年2月		西森 春奈	: 2018年3月
倉元 啓輔	: 2018年2月		宮路 真理恵	: 2018年3月
香田 隆司	: 2018年2月		松岡 春菜	: 2018年3月
高森 美和子	: 2018年2月		藤野 ひとみ	: 2018年3月
国生 彩	: 2018年2月		櫛本 紗也加	: 2018年3月
山下 信吾	: 2018年3月		佐野 文香	: 2018年3月
藤木 渉	: 2018年3月		小野 恵里加	: 2018年3月
原田 航輔	: 2018年3月		石口 香奈	: 2018年3月
頓所 つく実	: 2018年3月		吉田 直樹	: 2018年3月
高橋 美貴子	: 2018年3月		矢野 貴志	: 2018年3月
高津 修平	: 2018年3月		間部 美智子	: 2018年3月
河上 佳之	: 2018年3月		町田 佳世子	: 2018年3月
遠矢 正仁	: 2018年3月		堀田 和也	: 2018年3月
川端 賢治	: 2018年3月		福丸 桃子	: 2018年3月
梅田 美恵	: 2018年3月		韓 旼熙	: 2018年3月
渡部 信彦	: 2018年3月		畠山 絵里香	: 2018年3月
大津 美和	: 2018年3月		西田 佳菜子	: 2018年3月
村尾 直美	: 2018年3月		波戸 佐矢香	: 2018年3月
丸田 道雄	: 2018年3月		名越 千花	: 2018年3月
			富安 玲子	: 2018年3月
			田羽田 礼菜	: 2018年3月
			杉本 美弥子	: 2018年3月
			下田 麻美	: 2018年3月
			品川 彰行	: 2018年3月
			重岡 美穂	: 2018年3月
			坂田 希世子	: 2018年3月
			近藤 珠代	: 2018年3月

岡 優子 : 2018年3月
 大石 泰弘 : 2018年3月
 梅崎 篤士 : 2018年3月
 井上 祥子 : 2018年3月
 荒巻 祐麻 : 2018年3月
 川崎 里絵 : 2018年3月
 長内 克憲 : 2018年3月
 本田 莉央菜 : 2018年4月
 江崎 暦 : 2018年4月
 市川 誠 : 2018年4月
 花田 優香 : 2018年5月

会員の皆様へ

これまで、会員の皆様の異動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という要望もございます。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙（異動届等）にその旨ご記入ください。

異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で協会の事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ(<http://www.fuku-ot.org/>)へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

医療法人成心会ふじわら医院

【募集職種】 作業療法士
 【募集人員】 1人
 【雇用形態】 常勤
 【給与】 20万～24万円
 【賞与】 年2回
 【勤務時間】 8時30分～18時
 【休日】 平日半日、土曜日午後、日曜祝日休み
 【勤務地】 山口県周南市および山口県熊毛郡平生町
 【その他】 交通費支給（上限あり）
 【連絡先】 周南市大字大河内256-14
 (0833) 91-7100
 担当：藤井

編集後記

今月号の特集は医療法人夢結らそうむ内科・リハビリテーションクリニック 靱井剛士さんに「嘉麻市における自立支援型地域ケア会議における専門職の役割について」という題目で執筆していただきました。嘉麻市は前号までの特集されている糸島市や福津市と並んで、平成29年度のモデル市町村に選定されています。地域ケア会議の対象者はサービス事業対象者及び要支援者ですが、地域によっては要介護者や困難事例へと対象が広がっています。逆に、サービス事業対象者及び要支援者のすべてを対象とした地域ケア会議を開催することが困難な地域もあり、地域の実情に合わせた対象者の選定が必要なようです。今年度は福岡県作業療法協会の各ブロックから地域ケア会議をテーマに執筆していただいています。次号は筑後ブロックから執筆していただく予定です。ご期待ください。よろしくお願いします。（許山）

